

令和4年度天皇誕生日祝賀レセプション 林大使挨拶

2023年2月15日 於大使公邸

本日は、令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションにお越し頂き、誠にありがとうございます。コロナ禍を経て約3年ぶりに、今年はこうして皆様を公邸でお迎えし、天皇誕生日祝賀レセプションを盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。

本日のレセプションは、2019年5月1日に即位され、来週の2月23日に63歳になられる、第126代・徳仁（なるひと）天皇陛下のご生誕を祝って開催するものです。徳仁天皇陛下は、当時皇太子殿下として、1982年に国際親善のため、2008年に日本人ブラジル移住100周年の機会に、また、2018年に世界水フォーラム出席のため、ブラジルを三度訪問されました。このように陛下は、ブラジルとは深いつながりを持っています。

日本とブラジルは、自由・民主主義・法の支配・人権といった基本的価値を共有する「戦略的グローバルパートナー」です。厳し

い国際情勢の中で、2023年は、両国が「戦略的グローバルパートナー」として、国際社会の課題に緊密に連携しながら対処していくにあたり、重要な機会を提供しています。両国は本年の国連安保理理事国を務めるほか、日本は今年のG7議長国を、ブラジルは来年のG20議長国を務めます。加えて、2023年は日本人のブラジル移住115周年でもあります。日本とブラジルは、小淵優子特派大使のルーラ大統領就任式への参列、さらに林外務大臣のブラジル訪問という年初の二つの重要な訪問を通じ、この重要な節目の年を良い形でスタートさせることができました。

大統領就任式に参列した小淵優子特派大使は、元経済産業大臣であり、現在も衆議院議員として日伯友好議連の副会長を務めています。本日ご来訪の議員の中にも、近く日本を訪問する予定の方が何名かいらっしゃいますが、こうした相互の訪問を通じて、今年は更に日伯間の議員交流が活性化することを期待しています。

ブラジルが新政権下で受け入れる初の要人公式訪問となった1月8日及び9日の林大臣の訪問は、ちょうどブラジルにおける民主主義を脅かす抗議行動が起こったタイミングと重なりましたが、これは同時に、日本とブラジルが民主主義への強固なコミットメント

を示す重要な機会にもなりました。3時間近くに及ぶヴィエイラ外務大臣との対話において、林大臣は、暴力により民主主義を脅かすことは許されるべきではないと述べ、民主的に選出された新政権への支持を表明しました。私は、今回の訪問が、両大臣間で、日本とブラジルの「戦略的グローバルパートナーシップ」をより一層深化させていく強い意思を共有する機会になったと信じています。

経済面でも、日本とブラジルは長年に渡る協力関係があります。現在ブラジルでは約700社の日本企業が活動しており、その企業一つ一つが、日ブラジル経済関係促進の重要な役割を担っております。本日のレセプションでは、日本関係企業が自社製品を展示しておりますので、ご紹介させていただきます。会場前方では、キッコーマン社が調味料及びAzumaブランドの日本酒、ヤマハ・ミュージック社がキーボード、ホンダ社が自動二輪車を展示しております。また、公邸の玄関前にて、高性能の代名詞である日本車、トヨタ、ホンダ、スズキ、三菱の自動四輪車を展示しておりますので、是非ご覧ください。さらに、VRコーナーでは、美しい日本の景色など訪日の疑似体験が可能となっておりますので、是非試してみてください。

ださい。

ただいま、ご紹介しましたように、今年、日本とブラジルの関係は、政府、議会、経済、日系社会など様々な分野で一層の発展が期待されます。私としても日ブラジル関係を更に強化するために最善を尽くして参りますので、皆様のご支援のほど宜しくお願いします。

最後に、ご列席の皆様のご繁栄、日ブラジル関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)